
大学教育学会ニュースレター

No.76 2007.9.28

大学教育学会 (*Liberal and General Education Society of Japan*)

事務局:北海道医療大学内 〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢 1757

TEL:0133-23-1487(直通)/FAX:0133-23-1487

郵便振替口座:00120-4-178891 大学教育学会

e-mail: ungakkai@hoku-iryo-u.ac.jp URL: <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

「大学教育学会2007年度課題研究集会」

統一テーマ 「学士課程教育の再考」

2007年度課題研究集会企画委員会委員長
濱名 篤(関西国際大学)

高等教育のユニバーサル化の進行によって入学してくる学生たちの学習目標、学習意欲、学習習慣、学力の多様化は益々進行しつづけます。政策的にみても、2005年に出された中教審の「我が国の高等教育の将来像」答申(いわゆる「将来像答申」)では、高等教育の機能として、a)世界的研究・教育拠点、b)高度専門職業人養成、c)幅広い職業人養成、d)総合的教養教育、e)特定の専門的分野(芸術、体育等)の教育・研究、f)地域の生涯学習機会の拠点、g)社会貢献の7つから、各大学が1つ以上を選択することを求めるという“機能の多様化”を是認しており、学士課程教育自体の多様化の進行はとどまるところを知りません。また同答申では、「早急に取り組むべき重点施策」として12の提言をしていますが、「21世紀型市民の育成」をめざし、「多様で質の高い学士課程教育を実現する」ことがその中核を占めています。中教審では、2007年4月より大学分科会に「学士課程の在り方に関する小委員会」を設け、こうした状況下にあるの学士課程教育の在り方を大幅に見直そうとしており、本学会会員もこの審議に参加しています。

最近の高等教育をめぐる議論の中では、大学生の学力低下が問題になってきている一方で、グローバル化の進行に伴い、世界共通の「学位」のもつ意味や価値を問い、“質保証”を求める問いかけが、認証評価機関のみならず、広く社会や産業界からも求められてきています。多様化と質保証という、両立が難しい課題を解決するということが大学教育に問われているということだといえるでしょう。

そもそも「学士課程教育」というコンセプトは、本学会が主唱してきたものであり、こうした議論が展開され、その在り方が見直そうとされる状況の中で、学会として、新たな動きや変化を視野に入れた学士課程教育の再構築化に向けての問題整理と提言を行うことが求められて来るといえるでしょう。

今回の課題研究集会では、こうした状況を勘案し、「学士課程教育の再考」をテーマとしました。特別講演もシンポジウムI「学士課程教育の再構築」もこうした観点から設定しました。学会としての研究課題である「理科系の学士課程教育」と「FDの在り方」という2つのシンポジウム、さらには開会式前に設定した初年次教育ワークショップも、「学士課程教育の再考」というテーマに極めてマッチした内容となっています。数多くの会員の皆さんに、晩秋の京都でこうした焦眉の課題について活発に議論していただくことを期待しております。

**大学教育学会
2007年度課題研究集会**

実施要項

統一テーマ：「学士課程教育の再考」

主催：大学教育学会 共催：龍谷大学大学教育開発センター

期日：2007年12月1日（土）・2日（日）

会場：龍谷大学深草学舎 3号館（京都市伏見区深草塚本町）

スケジュール

第1日：12月1日（土） 龍谷大学深草学舎 3号館

9:30 10:00 12:00 12:20 13:00 13:15 14:30 14:50 17:20 17:40 19:30

開会前プログラム ① 初年次教育ワーク クショップ ② 飛雲閣（西本願寺） 見学	受付	開会 挨拶	特別講演	休憩	シンポジウムⅠ	移動	懇親会
--	----	----------	------	----	---------	----	-----

懇親会 深草学舎4号館地下食堂

第2日：12月2日（日） 龍谷大学深草学舎 3号館

9:00 9:30 12:00 13:15 15:45 16:15

受付	シンポジウムⅡ	昼食 (ランチオン・ セッション)	シンポジウムⅢ	閉会挨拶
----	---------	-------------------------	---------	------

関連行事

12月1日（土）10:00～12:00 常任理事会（深草学舎4号館320教室）

第1日目 深草学舎3号館

開会前プログラム

① 9:30 ～ 12:00 初年次教育ワークショップ（3号館201教室）

「初年次教育の組織的な導入のはかり方」

高等教育のユニバーサル化が進行する中で、初年次教育については、高校からの移行を支援する教育プログラムとしての有効性が認められ、中教審での審議の中でも「初年次教育の充実をはかること」が検討されていますが、いざ初年次教育を始めようとしても、様々な文献をみるだけでは実際の導入や実践を行うことは難しいという声が多く、具体的に何から始めればいいのか、自大学にあったプログラム開発やFD、組織づくりをどこにいけば適切な助言がえられるか困っているという声が多くありません。

そこで、本学会での研究実績と、勤務先でも初年次教育を導入してきた経験をもつ、山田礼子（同志社大学）と濱名篤（関西国際大学）の両会員が、初年次教育の導入・開発・展開に必要な準備、教育プログラムづくり、教育方法、FD、評価などのやり方について、アクティブ・ラー

ニング方式のワークショップを開催することにしました。初年次教育を自大学でこれから導入したい、あるいは、導入しているが改善をしたいと考えているといった会員各位に参加して頂く、実践的な課題解決の機会にしたいと思います。

申込み締切りは別途申込みで11月16日(金)となっています。

②10:00 ~11:30 飛雲閣(西本願寺)見学 <50名迄>

本願寺阿弥陀堂→飛雲閣→日暮門→大宮学舎の世界遺産・国宝・重文ツアー

西本願寺のご厚意により、普段は非公開の、国宝、飛雲閣(西本願寺)見学ツアーが可能になりました。参加をご希望の方は、下記の要領で事前に申し込んでください。

参加資格：大学教育学会会員(非会員の方はこの機会に学会にご入会ください)。

応募方法：宣製往復葉書に住所、氏名、所属を記入し、「飛雲閣見学ツアー参加希望」と明記し、下記にお送りください。

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67 龍谷大学 大学教育開発センター事務局

申し込み締め切りは10月末日(必着)とします。参加者には11月中旬に返信用葉書をお送りします。なお、50名を超えた場合は抽選となります。返信葉書は参加証の代わりになりますので、当日ご持参ください。

集合場所：龍谷大学大宮学舎本館前 参加者には返信用葉書にてあらためてご連絡します。

その他：西本願寺、大宮学舎から会場となっている深草学舎までの交通手段は、当日ご案内します。

12:20 受付開始(3号館1階ロビー)

13:00~13:15 開会挨拶(3号館301教室)

開催校挨拶 若原 道昭(龍谷大学学長)

学会会長挨拶 寺崎 昌男(大学教育学会会長)

13:15~14:30 特別講演「イギリス教養教育の源流を訪ねて—学士課程の理念と構造—」

講演者：安原 義仁氏(広島大学大学院教育研究科教授、大学評価・学位授与機構運営委員)

国立教育研究所第一研究部第二研究室室長、大学評価機構(仮称)創設準備委員会専門委員などを

歴任。『国家・共同体・教師の戦略』(共編著)昭和堂、2006年)、訳書、M・サンダーソン

『イギリスの大学改革1809-1914』(玉川大学出版会、2003年)など。

14:30 休憩

14:50~17:20 シンポジウムI(3号館301教室)「学士課程教育の再構築」

主旨：本シンポジウムは、本課題研究集会のテーマについて、学士課程教育の目標設定と組織の在り方について新しい動きに注目し、具体的な改革事例の狙い、実践、評価について、当該校関係者に報告してもらい、それらの情報を参考にしつつ、現在の日本の学士課程の目標と組織の在り方について、問題整理と改革の方向性について議論していく。

具体的には、1)新しい動きとして、リベラルアーツ学群方式で、大学入学後に一定期間の教養教育や専門基礎教育を履修させてから専攻分野を決めるというLate Specializationを取り入れている大学、2)総合大学において全学共通の「分野・水準表示法」と「副専攻制度」を核とした新しい学士課程教育を構築し、全ての授業科目に分野と水準を示すコードを付し、各科目の

難易度、相互関係や体系性を理解させようとする再構築に取り組む大学、3) 入学段階で学部・学科の決定をさせつつも、伝統的な教養部を存続させ全学共通の教養教育の責任組織を維持してきた大学、の3種類の大学に報告をお願いする。

シンポジストと演題：

佐藤 東洋士(桜美林大学)「分野機能別学士課程教育再編——リベラルアーツ教育の再構築を中心として」

濱口 哲(新潟大学)「教養教育と専門教育を統合したアウトカム評価型学士課程教育への取り組み」

永平 幸雄(大阪経済法科大学)「伝統的な教養部方式の学士課程教育(仮)」

コメンテーター：川嶋 太津夫(神戸大学)、河村 能夫(龍谷大学)

司会者：濱名 篤(関西国際大学)、近藤 久雄(龍谷大学)

17:20 懇親会会場への移動

17:40 懇親会 (4号館地下食堂)

第2日目—————深草学舎3号館

9:00 受付開始 (3号館1階ロビー)

9:30 ~ 12:00

シンポジウムⅡ (3号館301教室)

「理系学士課程教育の充実方策」

主旨：学士課程教育前期における理系基礎教育は、理系各分野の専門基礎として欠かすことができないばかりではなく、Science for all またサイエンス・リテラシー科目として近年重要性を増しつつある。本課題研究においては、今年度から始まった桜美林大学リベラルアーツ学群における数学教育、北海道大学におけるクリッカー(投票システム)や自習・宿題提出システムを用いた能動的授業といった環授業改善の事例の紹介とともに、「第2世代のFD」として注目される分野に即したFDの在り方について提言をしていただく。さらにコメンテーターからは受験生、高校生、高校の先生方の状況について把握している立場からのコメント、および及び当日の報告以外の事例等と結びつけてコメントをいただく予定である。

シンポジストと演題：

芳沢 光雄(桜美林大学)「リベラルアーツとしての数学教育」

鈴木 久男(北海道大学)「入門物理における能動的授業」

小笠原 正明(東京農工大学)「基礎教育の改善と分野別FDの展開」

コメンテーター：中島 由起子(河合塾)

司会者：吉永 契一郎(東京農工大学)、松岡 正邦(東京農工大学)

12:00 ~13:15 昼食 休憩

12:30 ~ 13:00 ランチョン・セッション (3号館201教室)

龍谷大学における障がい者に対する取り組み——「学びへの意欲にこたえる開かれた学び舎をめざして(オープンカレッジ『ふれあい大学』課程)」龍谷大学短期大学部「特色GP」を中心に一本学短期大学部ではひろく学びの機会を提供するため、知的障がいをもつ方々を「オープンカレッジふれあい大学課程」に招き、本学学生とともに大学という場で学習していただく取り組みを行っております。今年で6年目となる本取り組みを中心に本学での活動をご紹介します。

13:15 ～ 15:45

シンポジウムⅢ (3号館301教室)

「FDのダイナミクスーFDモデルの構築に向けてー」

主旨：課題研究「FDのダイナミクス」は2年次を迎えたが、この間、ヒアリング調査などと平行して、FDモデル構築に関する理論的検討を蓄積してきた。ここで研究課題として浮上してきたのが、今日におけるFD把握のメイントレンドとなっている「工学的経営学的モデル」の可能性と限界である。大学教育の領域では、1990年代以降、たとえば「目標を明確に設定する」とか「PDCAサイクルを回す」といった常套句をとまなういかにもすっきりとした工学的経営学的モデルが力をもち、他の一切のモデルを駆逐しつつあるかのようにみえる。このモデルの可能性と限界をきちんと論ずることなくしては、新たなモデル設定は不可能である。本シンポジウムでは、あえて工学的経営学的アプローチとそれへの対抗的アプローチを際立たせる形で示し、この議論へのフロアーからの参加を通して、「あるべきFDモデル」を浮き彫りにすることを試みたい。

シンポジスト：絹川 正吉(前国際基督教大学)、田中 每実(京都大学)、安岡 高志(東海大学)

コメンテーター：鈴木 敏之(文部科学省)

司会者：井下 理(慶應義塾大学)、夏目 達也(名古屋大学)

15:45 学会長挨拶、次年度大会開催校・課題研究集会校紹介

閉会挨拶 2007年度課題研究集会実行委員会委員長

河村 能夫(龍谷大学大学教育開発センター長)

16:15 閉会

＝お願い＝

- ・会場建物内は禁煙です。喫煙は喫煙所のみで、そこ以外での喫煙はご遠慮ください。
- ・会場内での携帯電話のご使用はご遠慮ください。ご入場の際は電源を切るか、マナーモードにご設定ください。

2007年度課題研究集会に関するお問い合わせは下記にお願いいたします

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67 龍谷大学 大学教育開発センター事務部

TEL :075-645-2163 FAX:075-645-2190

e-mail: dche@rnoc.fks.ryukoku.ac.jp

龍谷大学大学教育開発センターHP(<http://www.ryukoku.ac.jp/fd/>)内に、課題研究集会

のHPを開設しておりますので、ご活用下さい。

<課題研究集会参加要領>

1. 課題研究集会参加のお申し込み及び参加費払い込み

課題研究集会に参加される方は、①～③のいずれかの方法で参加登録をお願いいたします。申し込み締め切りは 11月5日(月) を厳守とします。郵便振替口座への入金も同時にお願いいたします。

なお、締め切り後にご入金の場合、課題研究集会までに入金が確認できないことがありますので、ご入金時の郵便振替払込請求書兼受領証を必ずご持参ください。

参加者は参加者一名につき払込取扱票一枚でご入金ください。領収書は受付でお渡しします。

①FAX：同封の参加申込み用紙にご記入の上、075-645-2190 までご送信ください。

②郵便：同封の参加申込み用紙にご記入の上、下記までご送付下さい。

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67 龍谷大学 大学教育開発センター事務局

③e-mail: 参加申込の各項目を明記の上、タイトルに「課題研究集会」と記して、送信してください。e-mail: dche@rnoc.fks.ryukoku.ac.jp

参加費等

※課題研究集会参加費（『要旨集』を含む）	一般	5,000 円	学生	1,000 円
※懇親会費（12月1日）		5,000 円		2,000 円
※弁当代（12月2日）		1,000 円		
※『要旨集』のみ		1,000 円		

- ・ 非会員の方も参加できます。「参加申込書」のコピー、郵便局備え付けの振込用紙等をご利用になり、上記と同様の手続きをしてください。
- ・ 学生・院生の方々が参加しやすいよう、参加費・懇親会費の割引きをしています。会員の皆様におかれましては、非会員の学生・院生も含め、広く課題研究集会への参加を促していただきますようお願いいたします。また、これを機会に本学会加入呼びかけへのご協力もお願いいたします。
- ・ 当日の参加申込みも可能ですが、準備の都合上、事前手続きに是非ともご協力ください。
- ・ お払い込みの参加費等は、理由を問わず返却いたしません。あらかじめご了承下さい。
- ・ 参加費等を払い込みながらご欠席の場合は、後日、『要旨集』をお送りします。
- ・ 課題研究集会当日は、課題研究集会の受付の他、学会事務局の受付も設置し、入会申込み、未納会費納入、会誌バックナンバー・学会出版物の頒布等を行います。

2. 12月2日(日)の昼食

・ キャンパス内の生協食堂(3号館地下、4号館地下、学友会館1階)は、1日(土)は利用できますが、日曜日は営業していません。弁当をご希望の方は、参加費とともに弁当代1,000円を払い込んでご予約ください。弁当は3号館地下で「弁当予約券」と引き換えにお渡しします。

なお、カフェ『樹林』が土日とも営業しており、ホットドッグなど簡単な軽食を用意しております。また、大学周辺には日曜営業の食堂がいくつかあります。

3. アクセスと宿泊のご案内

アクセスは参加申込書の裏にあるアクセスマップをご覧ください。

空路ご利用の方は、伊丹空港から京都行き空港バスをご利用ください。京都駅南口まで約1時間

です。

宿泊ご希望の方は、同封の案内にしたがい、お申込みください。

4.振替口座

・会員の方は、同封の郵便払込取扱票を御利用いただくと便利です。なお、学会の年会費の郵便払込取扱票とは別になっていますので、ご注意下さい。

課題研究集会 郵便振替口座 加入者名： 龍谷大学生生活協同組合 口座番号： 01050-4-49500

<初年次教育ワークショップ 申込み要領>

課題研究集会の申込みとは別に、資料準備の関係上、初年次教育ワークショップの参加申込みをお願いします。

1. 申込先：関西国際大学初年次教育研究開発センター 加藤・海老坂まで
2. 申し込み方法：メールもしくはファックス 0794-85-1102 にて
申し込みの際の記入事項：
①氏名、②所属、③会員・非会員の別、④連絡先：メールアドレスまたは FAX 番号、
⑤参加の理由・関心事、をご記入の上、
3. 申込み締切：11月16日（金）
4. 問い合わせ：メールもしくは FAX にてお願い致します
yoshikok@kuins.ac.jp 0794-85-1102 初年次教育ワークショップ受付担当

第三回大学教育学会奨励賞の募集について

2005年6月の本学会総会決定に基づき、第三回本学会奨励賞を募集いたします。自薦他薦は問いませんので、会員の皆様の積極的なご応募を期待します。詳細は、下記の「募集要項」をご覧ください。

▼平成18年度大学教育学会奨励賞募集要項

1. (応募資格) 本学会会員にかぎる。
2. (対象論文) 本学会誌(27巻1号から29巻2号まで)に掲載された論文。
3. (提出書類)
(自薦の場合) 論文、応募者の略歴及び業績一覧、応募理由(研究の意義・成果など1,000字以内)
(他薦の場合) 論文、推薦理由(研究の意義・成果など1,000字以内)
4. (応募締め切り) **2007年12月21日(必着)**

＝事務局から＝

● 会費納入のお願い

今年度(2007年度)の会費が未納の方および過年度の会費・会誌代が未納の方々は、**10月31日(水)**までにご入金ください。(領収証につきましては、郵便払込票の受領証をもって替えさせていただきます。)

なお、入金状況について不明な方は、メールもしくはFAXにて4桁の会員番号を明記の上、お問い合わせください。追って、返答させていただきます。

年会費等郵便振替口座 00120-4-178891 「大学教育学会」

ご入金はなるべく**郵便払込取扱票**をご利用ください。やむを得ず、**銀行からご入金を希望される場合は、お手数でもご入金前に必ず事務局までその旨ご連絡ください。**

● 大学教育学会第30回(2008年度)大会について

2008年度第30回大会は、6月7日(土)～8日(日) 目白大学新宿キャンパス
(所在地:東京都新宿区中落合 4-31-1)にて開催予定です。

● 2008年度課題研究集会について

2008年度課題研究集会は、12月6日(土)～7日(日) 岡山大学創立50周年記念館
(所在地:岡山県岡山市津島中2丁目 1-1)にて開催予定です。

● ご登録内容変更完了のお知らせ

先にご案内申し上げましたとおり、今年度は3年に一度発行される「会員名簿」の作成年度となっております。返信されてまいりました調査票に基づき、ご登録内容を変更させていただきました。

そのため、6月発行の学会誌とは、送付先および宛名が変更になっている場合がございますことをご承知おきください。(備考欄にて、「送付先と会員名簿掲載内容を別に」と希望された方につきましては別途対応させていただきます。)

また、万が一、変更内容に不備がございました場合は、お手数ですが事務局までメールもしくはFAXにてお知らせくださいますようお願いいたします。

◆尋ね人◆ …… 定期刊行物が返送されています。

お気づきの方、以下の方をご存知の方は、お手数ですが事務局まで情報をお寄せください。
(事務局員不在の場合もございますので、メールもしくはFAXにてお知らせください。)

◆杉原真晃 ◆谷村千絵 ◆藤井英子 ◆中村百合子 ◆半田智久 ◆関根 透
◆大日方聡夫 ◆濱口豊太 ◆飯島宗一 ◆小島理絵 ◆石井一成 ◆井上まや
◆山室和也 (敬称略)

＝お願い＝

定期刊行物は、おもにヤマトメール便を利用しているため、転居にともなう転送はされず、数週間後、事務局へ返送されてまいります。事情をご考慮いただき、ご登録内容に変更が生じた場合は、速やかに事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。



事務局 ● 北海道医療大学内

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢 1757

TEL 0133-23-1487 FAX 0133-23-1487

E-mail ungakkai@hoku-iryo-u.ac.jp

URL <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>